
私の相棒は・・・龍？

アルトアイゼン・リーゼ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私の相棒は・・・龍？

【Nコード】

N3535BA

【作者名】

アルトアイゼン・リーゼ

【あらすじ】

私はサムス・アラン、フリーのバウンティ・ハンターだ

私は政府の依頼を受け廃棄コロニーに存在するメトロイドらしき物の駆除を行っていた。そんな私の前にある男が現れた、彼はモドキ達は一瞬にして凍らせ次の瞬間には、はじけ飛んだ

『デイルス・ザウング』彼はそう名乗った。私は彼の腕と洞察力、彼の正体を知るために行動をする事にした

彼との出会い

広大なる大宇宙・・・

その暗黒の宇宙にポツリと浮かぶ一つの人工物・・・

コロニーだ、そこで明るいう光が巻き起こり爆発が起きる

そこには古代の甲冑を模したような赤とオレンジ色の装甲

右腕部には砲塔のようなものが装備されている

彼女は言わずと知れたバウンティ・ハンター

サムス・アラン

私はサムス・アラン、フリーのバウンティ・ハンターだ

私は政府の依頼を受け廃棄コロニーに存在するメトロイドらしき物の駆除を行っていた

・・・小さく1つしか無い核で、容易に判別できるメトロイドモドキだ

スペースパイレーツが独自に繁殖・改造を試みた結果、失敗したメトロイドの劣化個体

それがメトロイドモドキ、これなら政府でも簡単に処理できる
私はスターシップに戻ろうとした時、設置したセンサーに反応があった

凄まじいまでの数のメトロイドモドキがこちらに向かっている

ビームエネルギーをアームキャノン内部で凝縮させる

モドキ達が向かってくる方向にアームキャノンを向けた

そして大量のモドキが飛び出してきた

発射しようとしたその時、モドキ達は一瞬にして凍りつき

次の瞬間には、はじけ飛んだ・・・

信じられない・・・幾らモドキといってもこれほどの数を・・・

コツツ・・・コツツ・・・規則正しい足音が聞こえる・・・人？

いやそれはないはずだ、ここは空気は有るが人間が住める環境では

ない

私は再びアームキャノンに向けた

現れたのは長い金の長髪に青い目と茶色の瞳

私よりやや身長は高い、見たところ・・・10代後半といった所の青年だ

「・・・今ので93か・・・」

そんなに討ち取ったのか？私は彼の方に近づいた
彼も私に気づいたのか私の方を見る

「・・・何者だ」

威嚇の意味も込め強く訪ねる

「私の名前は・・・ディラス・ザウंगाと言います」

ディラス・・・ザウंगा・・・

「失礼ですがあなたのお名前を聞いても宜しいでしょうか？」

「私はサムス・アラン、フリーのバウンティ・ハンターだ」

淡々とそう答えた

「いいお名前ですね」

男は私に対して笑顔で言った

・・・少しドキッとした・・・そうだ聞いておかなくては・・・

「何故君のような未成年が此所に？」

その時彼の顔が凍った

「あの・・・私は一応・・・26なんですけど・・・」

な、何？私より年上だと！？

「そ、それは失礼・・・でなぜこんな所に？」

「それがよく解らないのですよ、目が覚めたら此所に居たので・・・そして散策をしていたのですがあれに出くわしたんです

見た目からして水分が多いと解りましたので凍らせ破壊するのが正しいと

思ったので」

始めて見たメトロイドの攻略法を見抜いたのか・・・！？

その後私は彼と共にコロニーに残ったモドキを一掃し彼と共にコロニーを後にした

そして私は彼の洞察力と腕を見込んで私と仕事を共にする事とした余談だが一人乗りだったスターシップを二人乗りのスターシップに買い換えた

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3535ba/>

私の相棒は・・・龍？

2012年1月9日03時53分発行